

議 員 総 会 会 議 録

日時：平成29年2月17日（金）

場所：全員協議会室

午後 2時45分 開会

○澤田勝議長

ただいまから、議員総会を開会します。

議題1．政務活動費成果の報告についてに入ります。テーマ「公立病院の経営形態の在り方について」を議題とします。

それでは、私のほうから報告させていただきます。

【1月18日～20日、2月1日の視察について同じテーマのため、
あわせて行政視察報告書に基づき説明】

報告は終わりました。ご質疑ありませんか。

○山本佳代子議員

この前から、新病院の構想委員会とかの話を聴いていると、新病院建設後5年から7年で黒字化すると経営のガイドラインが出ていますが、そのことと独立法人化することと、どういうメリットがあるのか。そのあたりがどういう状況なのでしょう。

○澤田勝議長

恐らくこの3月末か4月に入ってから新たな経営改革プランが出されます。そこで正式なものが出てくると思います。

ただ、ホームページ等を見ると、これまでの経営評価委員会で会議録が出ているため、正式なものではないですが内容が見えてきていますので、そこを見て報告をさせていただいたものです。当局は、これから発表されると思います。

○山本佳代子議員

この前の構想委員会でも、新病院になっても5年から7年で黒字になりますよと言っているのですが、それとこの独立行政法人化とどのように関係しているのですか。またそれは全然別の話ですか。

○澤田勝議長

速やかに独立行政法人化にしてほしいとの考えを個人的に持っており、経営効率化のことを考えると、独立行政法人化したほうがさらに経営効率が良くなると思います。

市は、おそらく8年後9年後に独立行政法人化したいと示してくるので、それでは遅いと考えています。即断に、PT（プロジェクトチーム）などを立ち上げて、メリットデメリットを調査してくださいと提言したいと考えていますが、半田病院がどうするかはこれからだと思います。

○新美保博議員

それでいいと思うが、議会でそれを言えるのか。半田病院に対して、独法化がいいと。もっと早くやれと言える立場にあるのか。ないのか。

○澤田勝議長

そこを私も微妙だと思っていて、独法化にしないとは言いにくいんですが、独法化が半田病院にとっていいか悪いかを調査しなさいとは言えると思います。そこを調査し

てほしいということを提言として言っています。

○新美保博議員

あと何年後に向けて独立行政法人化にむけて病院としては調査しているのか。

○澤田勝議長

まったくしていません。

(「全然していない。」との声あり)

○新美保博議員

ということは、従来通り言われていた全適（全適＝全部適用）として進んでいるということでもいいのか。どこかで打ち消してくれないと。ちょっと前までは全適全適といていた。全適を目指すはずとっておいて、急に独法化といわれても。それを議会が判断することならそれでいい。病院が勝手にやることだというなら、こちらは経営健全を目指していけと言えればいい。

(「独法化するときは議会を通さなければならない」との声あり)

そうでしょう。今までの方向がどこかで変わるためには、調査委員会でも作って調査研究していくとか、なんらかの意思表示をしないと・・・。

(「その中で国が示したことを今回勉強して、その姿勢を確認した中で。という流れを考えています。」との声あり)

○新美保博議員

4つあるなかの1つを勉強しただけで、これがいいとは言えないでしょう。

○澤田勝議長

そうです。だから個人的には独法化がいいと思っていますが、半田病院にとって何が最適かを調査してほしいと提言しています。

○嶋崎昌弘議員

次の半田病院改革プランが27年度まであるんです。これに一応経営形態の在り方ということで、半田病院は全適を目指していきます。という形で出ていますが、28年までに目指しますといっても、そこだけ結局出ていませんし検討もしてない。載っているだけ。2月22日に経営検討委員会があって、そのあと3月の全協で第3次のプランが出て、そこに経営形態については「全適と独法化で検討していきたい。」という文が載るそうなんです。あくまでやるのは病院であって、これはあくまで経営形態のツールであるので、それをやったらお金が儲かるというものではありません。全適、独法化、民間、指定管理とあるが、これらについてどのように考えていますか。という最終的には全適か独法化で検討したいと出てくるものと考えています。

○新美保博議員

それはわかる。だから、2ページ目「半田市に対してどう活用するか」というところの文言が、3行目、半田市立半田病院のプランでは「開設後には収支が悪化するが想定されるため、2025年に向けて経営の安定化を図るため独法化への移行を考えているようである。」と明言しているので聞くまでもない。それは勇み足ではないかということを行っている。ここで書いて、今度の一般質問で発表されるかもしれないが、これは伏せておかないと承知の上でやっていることになる。

どこかで今まで言ってきたことはご破算で、今度新しい方向を検討していきます。答えは25年に出しますと新しい方向を出してもらわないと。

○嶋崎昌弘議員

「検討」という言葉にしておいてください。

○石川英之議員

3人の方がこれについて勉強して、経営形態の在り方を報告したとしても、先ほど議長がおっしゃったように、病院に対してああしろこうしろと言えないと言っていたが、ここで発表したからと言って、すべて半田病院に行くかという、そんなことにはならない。議会の総意ではないから。

管理委員会の立場でみたとき、公立病院の経営形態の在り方について政務活動費を使って勉強してきて、提言が「プロジェクトチームを作れ。」ということなら視察に行かなくても言えるので、私としてははっきり「今回学んで独立行政法人がいいと思ったから、早急にプロジェクトチームを作るべきだ。」と言ってもらっても、かえっていいと思う。あくまで3人の総意としてだ。病院がどう考えているかは関係ない。そのほうが政務活動費を使って勉強した成果がここに表れる。

○澤田勝議長

ほかにありませんか。

(「なし」との声あり)

ほかにないようですので、次に移ります。

テーマ「学校給食の運営管理及び食材納入システムの調査研究 について」を議題とします。

○小栗佳仁議員

【行政視察報告書に基づき説明】

○澤田勝議長

報告は終わりました。ご質疑ありませんか。

○新美保博議員

今言った、GAP と HACCP、ISO は、千葉市と君津市、富士市は、この3つを上手に混ぜてやっているということか。

○小出義一議員

ISO と HACCP の管理は、千葉市の給食センターで実践していました。21 年度くらいに文科省の指導要綱が変わって、そういうシステムに従って運用しなさいということになっているので、新しい管理システムを導入していることで何がどう変わるのかということを確認したかった。ということです。

○新美保博議員

千葉は、HACCP と GAP はやっているが、ISO はやっていないということですか。

○小出義一議員

GAP は生産者の管理基準ですが、君津市と富士市では、GAP という概念が導入されています。

○新美保博議員

3つが揃ったところは一つもないということでもいいですか。

○小栗佳仁議員

3つが揃ったところはないです。

○新美保博議員

日本でそれをやっている所はどれだけあるか。たまたま3市だったのか。全国で90%

くらいやっている内で3市を選んだのか。

○小栗佳仁議員

ISO そのものと HACCP を組み合わせたのは千葉市が先進的な地域です。

○新美保博議員

千葉は、何分の一の取り組みか。

○小出義一議員

21 年以降にできている所は、取扱い基準が変わっているの、新規のところはこういった概念を導入するように文科省が指導しています。ただ君津市は建て替えを検討する前の段階で、そろそろ検討しなければならないといっていました、給食センターとしては導入されていませんでした。

○新美保博議員

GAP は生産者の話であって、HACCP と ISO について、やっていないのは君津市と富士市であるということだが、やっている市はどこか。千葉市だけということか。いくつあるのか。

○小出義一議員

21 年以降にできたところは導入されていますが、数までは把握していません。

○新美保博議員

やらなければいけない問題がどこにあるのか。課題がそこにあると思う。

○小出義一議員

先月も和歌山で食中毒がありましたが、原因をしっかりと究明できるような、どういう状態でここまで来たかという状態か把握できるように、納入前の段階と調理場の中と、問題を整理して解決していくために調査させていただいたということです。

○石川英之議員

そうすると、今の半田市の給食センターでは、とんでもなく古く、取ろうと思っても取れないが、新しく移転新築するセンターを建てる際には、21 年以降は、そういった指導が入るために、否が応でもやることになるということですね。

○小出義一議員

そうです。

○石川英之議員

いまここで勉強しに行った意味は何ですか。

○小栗佳一議員

もうひとつは ISO まで入れてやらないと、どこで何が起きたかという原因の部分の究明できないということです。ISO でやっているということが重要なポイントだということです。

○久世孝宏議員

半田市の給食センターの建て替えに際し、HACCP ではなく、ISO の導入を決めてないということを目的にするとわかりやすい。

○小出義一議員

道路交通法があるから交通違反がないかという話と同じで、管理システムは出来ているけれどどうしていくかということを当局が考えるか。

○新美保博議員

そんなことを言ったらなんでも同じだ。ルールを守るかどうかどうかはそれぞれが決

めることだ。

○中村宗雄議員

HACCP は、100 億以上の食品、食料品を扱っている事業者の 90%が導入しているが、小規模事業者はこんなことをやっていられないので小規模事業者は要件を緩和する話が出ています。

○石川英之議員

そもそも HACCP とは。

○中村宗雄議員

厚生労働省が決めている食品安全衛生の管理基準が厳しすぎるから、100 億以上のところは守らなければいけないけれども、小さいところはいいということですね。給食センターは 100 億円ないと思うので、きっと要件緩和されるような対象になるのではないかと思います。

○小出義一議員

その概念を取り入れて運営しなさいとは言っています。

○新美保博議員

食の安全は大切なことです。手を洗うか洗わないかはモラルの問題。洗わない人間は洗わない。なぜここでルール作りをしなければならないか目的がよくわからない。

○小出義一議員

汚染区域との交差導線が完璧には出来ていないということです。

○石川英之議員

提言の部分の「GAP の研修や現地視察により」は、生産者を連れて現地視察に行けというのか、半田市の幹部に行かせて GAP と取り入れるように生産者に言うようにいっているのか。

○小栗佳仁議員

半田市側が、生産者に対して見に行くものです。

○石川英之議員

GAP を取り入れたところを視察に行けという話ではないんですね。

○小出義一議員

栄養士さんが中心になると思います。

○澤田勝議長

ほかにご質疑ありませんか。

(「なし」との声あり)

ないようですので、この件はこれで終わります。

議題の 2、その他でなにかありますか。

(「なし」との声あり)

ないようですので、この件はこれで終わります。

以上で、本日、用意しました議題は、全部終了しました。

ないようですので、これにて議員総会を閉会します。

午後 3 時 31 分 閉会